

令和6年度 事業計画書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会

令和6年度事業計画 目次

1 事業の推進にあたって	1
2 重点的な取り組みについて	2
3 サービス区分別計画	
<社会福祉事業>	
1 法人運営事業	3
2 地域福祉推進事業	4
3 広報啓発事業	6
4 ボランティアセンター事業	7
5 共同募金配分事業	8
6 居宅介護等事業	8
7 基幹型地域包括支援センター事業	10
8 福祉サービス利用援助事業	11
9 生活福祉資金貸付事業	12
10 心配ごと相談支援事業	13
11 県シルバー大学校鳴門校管理運営事業	13
12 シルバー事業	14
13 福祉金庫貸付事業	15
14 障害福祉サービス事業	15
15 法人後見等事業	16
<収益事業>	
16 収益事業	17

【基本理念】

住民参加の福祉のまちづくりを推進する ～健康で安心して暮らせる福祉のまち「鳴門」づくり～

鳴門市社会福祉協議会（社協）は、地域の方々がお互いに支え合いながら身近な地域で安心して生き生きと暮らしていける福祉社会の実現を目指すことを第一義としながら、地域社会に貢献すること及び社協が地域住民に信頼され必要とされることが社協の使命であることを認識し、市民や行政との協働による『健康で安心して暮らせる福祉のまち「鳴門」づくり』に向け、市民主体の社会福祉活動の推進に努めることを理念とする。

1 事業の推進にあたって

近年の急激な社会情勢の変化や生活様式の多様化などにより、少子高齢化や人口減少、核家族化が進み地域が抱える福祉や生活に関する課題も多岐にわたり、より複合化・複雑化していることから、地域における支え合いや見守り活動をはじめ、自主防災活動、適切な支援機関への橋渡し役など地域の役割は年々大きくなる半面、高齢者人口の増加、地域の担い手不足、長期間続いたコロナ禍の影響などもあり、地域のコミュニティ活動の維持や存続といった課題は依然として残っています。

そのような中、鳴門市では、令和5年3月に「第2期鳴門市地域福祉計画」を策定し、地域共生社会の実現を目指し「地域コミュニティの再構築」「包括的相談支援体制の確立」を推進しており、他機関の協働による支援体制の整備に取り組んでいます。

また、本会においても「第2期地域福祉活動計画」を策定し、地域住民や地域活動団体がおこなう課題解決に向けた活動をより一層支援するとともに、民間組織でありながら広い「公共性」を持つ社会福祉協議会の特性を十分発揮できるよう地域福祉の推進を図ります。

さらに、災害等に関する取り組みとして、本市において、甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震の発生、毎年のように発生する自然災害などに備え、災害ボランティアセンターの設置・運営の関する訓練の実施や防災研修研修会への参加、民間組織との協定締結による災害ボランティアセンター機能の強化を図るとともに、不測の事態が発生した場合でも可能な限り各福祉サービス利用者へサービスの提供がおこなえるよう、各事業間における情報の共有、事業継続計画の適切な運用に努めてまいります。

2 重点的な取り組みについて

(1) 組織運営、経営基盤体制の整備

社会福祉法人制度改革において求められている経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性、財務規律の強化、適正な人事労務管理、災害等におけるリスクマネジメント強化に取り組み、社会福祉協議会として、今後も市民の皆様にご信頼され、より安定した法人経営と組織運営体制の整備に努めます。

(2) 地域包括ケアシステムの構築

居宅訪問介護事業、基幹型地域包括支援センター事業については、行政や地域包括支援センターなどと綿密な連携を図ることにより、住まい・医療・介護・介護予防・生活に対する支援を重層的に提供できるよう、在宅福祉サービス体制を構築します。

(3) 地域福祉推進の充実・強化

令和5年3月に策定した「第2期地域福祉活動計画」を実践するため、地域課題とその解決策について地域の方々との連携を深めながら、誰もが安心して暮らし続けられる地域の実現を目指した活動を進めてまいります。

また鳴門市において、市社協は地域福祉推進の中核的組織として位置づけられていることから、地域福祉の推進における市とのパートナーとして連携を密にしながら地域福祉を推進します。

3 サービス区分別計画 〈社会福祉事業〉

サービス区分	1 法人運営事業
--------	----------

1 事業の概要

社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各グループ間の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増 減
人件費支出	32,122	29,753	2,369
事務費支出	4,041	3,466	575
事業費支出	467	364	103
負担金支出	102	100	2
繰入金支出	9,300	6,700	2,600
積立資産支出	2,750	2,380	370
合計	48,782	42,763	6,019

3 主要な施策

1) 法人組織の整備と職員の資質向上（職員体制の拡充、研修等の実施）

- ・職員配置の適正化による管理運営機能の見直し
- ・市民の福祉ニーズに適切に対応するための既存事業の見直し
- ・社会福祉法人会計基準に基づく適切な事業運営、会計処理
- ・関連団体及び独自実施による職員研修の充実
- ・職員の能力や適性を考慮した適正な人事管理
- ・労働関連法令の改正等に対応した諸規程の見直しによる職場環境の整備

2) 社会福祉法を遵守した法人運営

①経営組織のガバナンスの強化

- ・理事会、評議員会の適正運営、機能強化
- ・会長、常務理事による理事会への定期的な業務執行状況報告

②事業運営の透明性の向上

- ・財務諸表、現況報告書、役員報酬基準等の公表
- ・必要な諸規定の整備

③財務規律の強化

④地域における公益的な取組の実施

- ・地域の福祉課題・生活課題の解決に取り組み、支援を必要とする方に

無料又は低額で福祉サービスを提供するための事業の実施

⑤その他

- ・所管庁の指導の遵守

3) その他

①社協の災害時総合相談支援対応力向上事業

- ・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル及び防災危機管理ハンドブック（職員用）の見直し、支援体制の確立
- ・マニュアル及びハンドブック（職員用）を活用した勉強会の開催
- ・災害ボランティアセンター模擬訓練
- ・県社協・市町村社協合同模擬訓練（東部ブロック）への参加、協力
- ・災害ボランティアセンターの周知及び災害ボランティアの養成
- ・災害ボランティアセンター設置運営にかかる民間組織との連携及び協定締結の推進

②災害等の発生時に備えたBCP（事業継続計画）の策定

③徳島県社会福祉協議会との連携、連絡会及び研修会参加

④中国四国都市社会福祉協議会連絡会定期総会及び研修会参加

⑤四国地域福祉実践セミナーへの参加

サービス区分	2 地域福祉推進事業
--------	------------

1 事業の概要

小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図ります。また、地域住民の福祉の向上や共助に対する理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア・市民活動の育成、援助を行います。さらに、公的制度を重層的に補完できるよう、地域で支える在宅福祉サービスを展開します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増 減
事業費支出	2, 6 5 5	2, 9 4 0	△ 2 8 5
配分金事業支出	1, 4 0 5	1, 4 0 5	0
助成金支出	1, 9 0 0	1, 9 0 0	0
合計	5, 9 6 0	6, 2 4 5	△ 2 8 5

3 主要な施策

1) 地区社会福祉協議会活動の推進

①小地域福祉活動の推進

- ②地区社会福祉協議会活動費助成
 - ③地区社会福祉協議会会長会の定期的な開催
 - ④社会福祉関係情報の提供
- 2) 第2期地域福祉活動計画の実践による地域福祉推進に向けた事業の展開
- ①地域における課題解決に向けた取組への支援
 - ②各種団体との連携による地域活動の推進
 - ③活動の活性化に向けた地域団体間での情報共有及び連携
- 3) 高齢者福祉活動の推進
- ①寝たきり高齢者、ひとり暮らし高齢者の支援活動
 - ・給食サービス事業
 - 対象者：ひとり暮らし高齢者 無料 各地区年2回
 - ②訪問介護事業・居宅介護支援事業の推進
 - ③地域支援事業への協力
 - ④鳴門市老人クラブ連合会活動への協力
 - ⑤福祉団体活動費の助成
 - ⑥寿祝い（100歳）30人
 - ⑦鳴門市社会福祉協議会グラウンドゴルフ大会の開催
- 4) 児童福祉活動の推進
- ①子どもの育つ環境の整備
 - ②関係機関、団体との連携を強化
 - ③子どもの健全育成活動の推進
 - ④家庭、地域における児童養育機能の支援の推進
 - ⑤福祉団体等への活動費助成
 - ⑥福祉協力校指定事業
 - ⑦低所得世帯児童への修学旅行への助成
 - ⑧鳴門市版ネウボラ事業への協力
 - ⑨民生委員児童委員協議会と連携した子育て支援事業への助成
 - ・親子ですくすく声かけ訪問事業
 - ⑩「とくしま子どもの居場所づくり推進基金」活用事業の支援
- 5) 母子寡婦福祉活動の推進
- ①地区母子寡婦会の活動推進
 - ②寡婦家庭の研修協力
 - ③福祉団体等活動費助成
- 6) 障がい者福祉活動の推進
- ①障がい者福祉対策の拡充強化の促進

- ②障がい者に関する相談活動への協力
- ③障がい福祉サービス事業の推進
- ④障がい者スポーツレクリエーション大会開催協力
- ⑤福祉団体活動費の助成
- ⑥知的障がい者体験学習会 ボランティア養成
- ⑦リフト付きワゴン車管理運営事業（移動支援事業）の実施
【鳴門市受託事業】

7) 民生委員児童委員活動の推進

- ①地区民児協の活動の強化
- ②生活福祉資金・福祉金庫の適正な貸付と償還指導
- ③民生委員児童委員による要援護世帯自立支援活動の推進
- ④避難行動要支援者登録制度への協力
- ⑤親子ですくすく声かけ訪問事業の実施
- ⑥民生委員児童委員の資質向上のための研修等の実施

8) 心配ごと相談所等相談事例の弁護士法律相談を継続実施

- ・毎月第2水曜日 14時～16時（1人30分間） 無料
- ・相談員研修会の開催

サービス区分	3 広報啓発事業
--------	----------

1 事業の概要

広報紙「社協なると」の発行ならびにホームページにおいて、幅広い福祉情報を開示するほか、社協の活動や地域の福祉活動について理解と促進を図るとともに社会福祉への普及・啓発を行います。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	1, 100	1, 400	△300
合計	1, 100	1, 400	△300

3 主要な施策

1) 社協活動の広報の推進

- ・広報紙（社協 なると）年2回（7月・11月）発行
- ・地域情報誌折込みによる配布（26, 000部）
- ・「地域活動ニュース」による地域福祉活動計画の実施状況についての周知

- 2) ホームページの活用による広報の推進
 - ・ホームページの拡充
 - ・随時の情報提供
 - ・会員団体の活動状況の周知
- 3) 計算関係書類の開示、公表
- 4) その他
 - ・第58回鳴門市社会福祉大会の開催
 - ・第68回徳島県社会福祉大会への参加協力

サービス区分	4 ボランティアセンター事業
--------	----------------

1 事業の概要

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、組織的なボランティア活動の育成・援助を行うため、地域福祉の向上・発展を推進する拠点として、ボランティア活動を希望するかた、ボランティアを必要とするかたや団体、施設からの相談、地域で福祉活動を進めるための相談などに応じます。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	914	914	0
助成金支出	900	900	0
負担金支出	5	5	0
合計	1,819	1,819	0

3 主要な施策

1) ボランティア活動支援の強化とセンター機能強化

- ・ボランティアの登録及び斡旋並びに相談
- ・預託金品の受け入れ及び払い出し
- ・ボランティア活動に関する広報及び研修
- ・ボランティア活動に関する調査研究及び連絡調整
- ・ボランティア活動保険・行事用保険等周知及び受付
- ・ボランティア保険加入者管理ソフトの運用
- ・ボランティアグループ等への備品・教材等の貸出
- ・ボランティアセンター運営委員会の開催
- ・ボランティア活動支援のための助成金交付

2) 災害ボランティアセンター設置に係る検討、鳴門市防災計画への反映

- ・災害救援ボランティア養成、研修、登録

- ・災害ボランティアセンター設置時における関係団体との連携

3) 市民ボランティア養成の検討

- ・ボランティア養成講座の検討
- ・ボランティア活動団体とのマッチング

サービス区分	5 共同募金配分事業
--------	------------

1 事業の概要

地区、ボランティア、学校、事業所等の協力により集められた募金の実績額により、徳島県共同募金会等から受けた配分金を活用し、社会課題を解決するための活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成金を配分します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
配分金事業支出	5,631	5,613	18
合計	5,631	5,613	18

3 主要な施策

1) 募金啓発活動の実施

- ・一般、歳末募金の実施
- ・街頭募金の実施
- ・歳末たすけあい運動の実施
- ・徳島県共同募金会鳴門市支部 10 支会等一般募金配分事業
- ・赤い羽根共同募金配分金の地域福祉事業への活用
- ・法人募金の充実に向けた周知及び協力依頼

2) テーマ募金活動への協力・周知

サービス区分	6 居宅介護等事業
--------	-----------

1 事業の概要

要介護認定を受けられた方の心身の状況や生活環境、希望等に沿って、介護支援専門員（ケアマネジャー）が居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、ホームヘルプサービス（訪問介護）やデイサービス（通所介護）、訪問看護等の居宅サービスが適切に利用できるよう、サービス実施機関等との連絡調整を行います。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
人件費支出	29,771	27,746	2,025
事業費支出	2,192	2,013	179
事務費支出	822	976	154
負担金支出	10	10	0
繰入金支出	0	0	0
積立資産支出	840	784	△56
合計	33,635	31,529	2,106

3 主要な施策

1) 介護保険事業の適正実施

個別ニーズに対応した在宅サービスの充実と各事業の円滑な運営

①訪問介護事業

サービス提供責任者4名

登録ホームヘルパー13名

社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会 訪問介護事業所

②居宅介護支援事業

介護支援専門員1名

社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

③介護予防事業

社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会 介護予防訪問介護事業所

2) 要介護認定調査業務の受託

3) 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の実施

・緩和型事業等の実施に伴う経営分析

4) 子育て世代包括支援センター(鳴門市版ネウボラ)事業連携

①産前産後ヘルパー派遣事業 【鳴門市受託事業】

5) 介護保険適用外の訪問介護サービス

身体介護(食事介助、入浴介助、排せつ介助、外出時の付き添い介助等)

生活介護(家事支援、買い物代行、見守り支援等)

6) その他

①職員の資質向上のための研修会の開催及び参加

・登録証交付及びヘルパー研修会の開催、参加

・県介護実習・普及センター研修会の参加

・雇用管理講習会の参加

・介護予防レベルアップ研修会の参加

- ・介護支援専門員現任研修等への参加
 - ・介護予防支援専門員研修への参加
 - ・ケアマネジメント能力向上研修会の参加
 - ・その他研修会の開催及び参加
- ②関係機関・事業所等との連携強化
- ・サービス担当者会議の開催及び参加
 - ・県、福祉事務所、保健所、各医療機関、他事業所との連携

サービス区分	7 基幹型地域包括支援センター事業
--------	-------------------

1 事業の概要

鳴門市からの委託により、地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、相談を受け、高齢者を見守り、心身の状態にあわせた支援を行います。また、「地域包括ケアシステム」の構築に必要な総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等を実施するとともに、地域包括支援センターの機能強化のため、「小地域ケア会議」「鳴門市地域ネットワーク会議」等を設置・運営します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
人件費支出	20,547	24,247	△3,700
事業費支出	6,506	5,318	1,188
事務費支出	170	178	△8
負担金支出	100	70	30
積立資産支出	1,309	1,345	△36
合計	28,632	31,158	△2,526

3 主要な施策

1) 地域包括ケアシステムの構築

- ・小地域ケア会議の開催（地域型地域包括支援センター5か所）

2) 地域包括支援センターの機能強化、支援

- ・包括支援センター定例連絡会の開催
- ・研修会の開催
- ・連携した事案への対応、個別支援ケア会議の開催

3) 認知症施策の推進

- ・認知症初期集中支援チームの活動実施
- ・認知症地域支援推進員等活動の推進

- ・認知症サポーターキャラバン活動実施
 - ・認知症キャラバンメイト・サポーターとの連携
 - ・認知症高齢者等SOSネットワーク事業の推進
 - ・医師などによる「もの忘れ相談」の実施
 - ・本人及びその家族の支援、居場所づくり等（当事者交流会開催等）
 - ・啓発活動
 - ・声かけ訓練の実施、認知症傾聴ボランティアの実施
- 4) 自立支援ケア会議の拡充
- ・自立支援ケア会議の定例開催
 - ・委員研修、スキルアップ研修の実施
- 5) 総合相談支援業務
- 高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなげる総合相談支援を行う
- 6) 権利擁護業務
- 高齢者の虐待防止、早期発見、消費者被害の予防対策、成年後見制度活用支援など、権利擁護業務を行う。
- 7) 包括的・継続的ケアマネジメント支援
- 高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう、地域に総合的、重層的なサービスネットワークを構築し、多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。
- 8) 介護予防ケアマネジメント業務
- 介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行う。
- 9) 介護者家族の会との連携・支援
- ・定期相談会の実施
鳴門市社会福祉協議会「相談室」
 - ・研修会、視察研修、介護講習会などの実施
 - ・サロン活動の展開

サービス区分	8 福祉サービス利用援助事業
--------	----------------

1 事業の概要

徳島県社会福祉協議会からの受託事業として、高齢や障害により、一人では日常の生活に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、福祉サー

ビスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理や重要書類等の預かり保管などの支援を通して、高齢者や障害のある方等の権利擁護を図ります。

2 支出予算額 (単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
人件費支出	7,069	3,887	3,182
事業費支出	436	347	89
事務費支出	50	26	24
合計	7,555	4,260	3,295

3 主要な施策

1) 日常生活自立支援事業の適正かつ効率的な運営

- ①初期相談受付及び契約者への援助
- ②県研修会等への参加
- ③事業周知のための説明会や広報活動の実施
- ④利用者の利便性向上のための生活支援員増員に向けた関係各所に対する要請活動

サービス区分	9 生活福祉資金貸付事業
--------	--------------

1 事業の概要

徳島県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者、高齢者、障がい者や離職者等の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行います。

併せて、緊急小口特例貸付及び総合支援資金貸付事業利用者に対して、鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」と連携し、償還に係る課題の解決など、対象となる方々の生活面での支援を行います。

2 支出予算額 (単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
人件費支出	3,522	3,165	357
事業費支出	558	643	△85
事務費支出	17	17	0
合計	4,097	3,825	272

3 主要な施策

1) 生活福祉資金貸付調査委員会等の開催

- ①生活福祉資金貸付調査委員会（地区民生委員児童委員協議会会長会時）

②調査委員会委員（地区民生委員児童委員協議会会長）

③随時小委員会開催

2) 関係各所との連携による債務整理の支援

3) 市民生委員児童委員協議会との連携

4) 鳴門市生活困窮者自立支援事業との連携

サービス区分	10 心配ごと相談事業
--------	-------------

1 事業の概要

定期的に心配ごと相談室・無料法律相談室を開設し、財産・家族・離婚問題など、あらゆる心配ごと・悩みごと等の相談に応じます。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	294	294	0
合計	294	294	0

3 主要な施策

1) 相談事業の実施

日時：毎週金曜日 午前10時～午後3時 開設

場所：健康福祉交流センター2階相談室

相談員：6名・事務員1名体制

2) 関係機関との連携

・弁護士による無料法律相談との連携

・その他社協事業との連携

サービス区分	11 県シルバー大学校鳴門校管理運営事業
--------	----------------------

1 事業の概要

徳島県（公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会）からの受託事業として、鳴門市に在住の高齢者が地域福祉を推進するリーダーとして活躍するため、「シルバー大学校鳴門校」を運営し、地域社会の構成員として積極的な役割を果たしていくために必要となる地域の歴史・文化や経済、身近な防災や環境など様々な専門知識と実践力を養成します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	991	991	0
合計	991	981	0

3 主要な施策

1) 地域福祉推進のリーダー養成

ICTコース、食品加工コース

第43期生 令和6年6月～令和7年3月

サービス区分	12 シルバー事業
--------	-----------

1 事業の概要

鳴門市からの受託事業として、高齢者が生きがいをもって生活できる地域社会実現のために、鳴門市シルバー大学校の募集・運営や鳴門市うずしお運動会等を開催します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	623	623	0
合計	623	623	0

3 主要な施策

1) 効果的な事業実施

・鳴門市シルバー大学校の開催

令和6年6月～令和7年3月 年10回

受講生100人予定

鳴門市健康福祉交流センター3階会議室 他

・鳴門市うずしお運動会の開催

参加人数700人予定

鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール

・シルバー趣味の教室の開催 12講座

鳴門市健康福祉交流センター3階会議室 他

2) 鳴門市老人クラブ連合会活動との協力体制推進

サービス区分	13 福祉金庫貸付事業
--------	-------------

1 事業の概要

鳴門市に在住する低所得世帯の方で、一時的に生活困窮に陥ってしまった場合に、無利息で生活資金の貸付を行います。

2 支出予算額 (単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	100	100	0
合計	100	100	0

3 主要な施策

1) 福祉金庫の適正な貸付と償還指導

応急的に必要な生業または生計費 1件 2万円以内の貸付
償還期間 10ヶ月以内

2) 不良債権の整理

督促状発行 年2回予定
借受人状況調査の実施

3) 鳴門市民生委員児童委員協議会生活相談支援部会との協力

4) 鳴門市生活困窮者自立支援事業（よりそい）との連携

サービス区分	14 障がい福祉サービス事業
--------	----------------

1 事業の概要

鳴門市に在住する障がい者の入浴介助などの身体介護や掃除・洗濯・調理などの日常生活援助や通院介助等を提供することにより、住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援します。

2 支出予算額 (単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
人件費支出	3,895	6,142	△2,247
事業費支出	549	679	△130
事務費支出	151	209	△58
負担金支出	0	20	△20
積立資産支出	273	279	△6
合計	4,868	7,329	△2,461

3 主要な施策

- 1) 居宅介護サービス事業（居宅介護事業、同行援護事業）
社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会 障害福祉サービス事業所
- 2) 地域生活支援事業（移動支援事業）
社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会 障害福祉サービス事業所

サービス区分	15 法人後見等事業
--------	------------

1 事業の概要

認知症、知的障がい、精神障がい等によって判断能力が十分ではなく、ご自身の身のまわりのこと、契約や財産の管理等をすることが難しい方に対し、本会が法人として成年後見人等となり、その方の判断能力を補い権利を擁護することにより、住み慣れた地域で安心して生活できるように法人後見事業を実施します。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事業費支出	1,030	992	38
事務費支出	30	30	0
負担金支出	20	20	0
合計	1,080	1,042	38

3 主要な施策

1) 成年後見業務の受任

- ①法人後見従事職員の配置（社会福祉士）
- ②家庭裁判所・市関係課・関係団体との連携
- ③後見計画の策定
- ④被後見人等に係る契約等の法律行為
- ⑤被後見人等の日常的な金銭管理
- ⑥被後見人等の身上監護

2) 法人後見事業運営委員会の設置及び運営

3) 成年後見等の制度や相談窓口等に関する広報

〈収益事業〉

サービス区分	16 収益事業
--------	---------

1 事業の概要

市管理施設内に自動販売機を設置するとともに、切手・印紙・商品等の販売を行い、その収益を本会が行う社会福祉事業の自主財源として充てます。

2 支出予算額

(単位：千円)

勘定科目	6年度当初予算額	5年度当初予算額	増減
事務費支出	270	275	△5
売上原価支出	5,110	5,381	△271
繰入金支出	1,700	1,700	0
合計支出	7,080	7,356	△276

3 主要な施策

1) 市内7箇所の公共施設に、清涼飲料水等の自動販売機を設置

設置箇所	台数
市役所本庁舎	3台
※共済会館	1台
分庁舎	1台
消防庁舎	1台
ボートレース鳴門	2台
クリーンセンター	3台
ウチノ海公園	6台

※共済会館については令和6年4月末まで

2) 売店事業として飲料、切手・印紙・年賀はがき等を販売